Profile

全国大学高専教職員組合（全大教）は、1989年に結成されました。全国の国立大学・公立大学・大学共同利用機関・国立高専の教職員組合で構成する全国組織です。各教職員組合には、すべての職種の人々が加入しています。また、特定の政党支持はせず、中立の立場で活動しています。



全国大学高専教職員組合

〒110-0015 東京都台東区東上野 6 丁目 1-7 MSKビル 7 階

☎ 03−3844−1671

URL http://zendaikyo.or.jp/ 全大教 検索



国立大学法人等の教職員の労働条件は、労働者と使用者の交渉（労使交渉）によって決定されます。当然、組合員が増えれば、それだけ多くの意見が労働条件に反映されます。人数が少なければ「一部の人の意見だ」と切り捨てられかねません。

私たちは大学の未来について考えています

- ☞ 運営費交付金の削減を中止し、基盤的経費を増額すること。
- ☞ 国公立大学、高専、大学共同利用機関の人材育成・学術研究の機能を充実させること。
- ☞ 国公立大学の学費を引き下げること。また奨学金制度を改善すること。
- ☞ 人件費削減策を改めるとともに、若手教員の安定的なポストを確保すること。
- ☞ 教員の教育研究環境の改善をはかること。任期制を導入しないこと。
- ☞ 国家公務員を下回る水準にある職員の賃金を引き上げること。
- ☞ 非常勤職員の雇止めを行わないこと。また待遇を改善すること。

✂ キリトリ線

組合加入申込書

年　　月　　日

お名前		職場	
連絡先（TEL）		e-mail	

お問い合わせ　**組合名**

職場にゆとりとうるおいを
あなたも労働組合に！



教育・研究を充実させよう！



私たちの生活を組合に入って守ろう！



心身共に健康が一番！



安心して働ける職場に！



一歩を踏み出す勇気を組合の人たちからもらえた！



教職員にも学生にもやさしい教育現場を！



なんでも相談できる仲間がここにいる！



全国大学高専教職員組合（全大教）



組合は 労働条件の守り手です

仕事や職場のことで悩みや問題を感じたとき、労働者が協力して、解決へ向けた話し合いを法人と対等にできるのが労働組合です。今ではすっかり「当然」になった働く条件も実は組合の取り組みの結果、実現したものが数多くあります。また、これらの権利を維持出来ているのも組合の成果です。

労働条件がこれ以上悪化しないようにみんなで力を合わせていきましょう！全大教に加盟する組合は、法人との団体交渉によってさまざまな労働条件の改善を図っています。

※各大学の労使交渉結果ですので全国一律ではありません。詳しくは各組合へお問い合わせ下さい。



国に要望実現を求めます。

全大教は、政府の押し付けではなく、改革は大学自治にもとづくべきであると考え、よりよい大学・高等教育の実現のために政府、政党、国会議員等に要請、会見を行っています。


厚生労働省要請


日本学術会議との懇談




財務省要請


文部科学省要請

職場の「おかしい！」「なぜ？」「どうしよう？」を解決します

職場に笑顔を

賃金・手当を改善させます。

教職員の入試手当の新設。地域手当の支給・増額。職員の昇格・昇任基準の改善。附属学校教員の公立学校教員との給与格差を改善。技術職員などへの業務手当の新設。看護職員の夜間看護手当などの増額。


高専機構との団体交渉

休暇制度を拡充させます。

教員の研究専念休暇制度（サバティカルリーブ）の実現。産前休暇 6 週間を 8 週間に。夏季特別休暇の新設。


大学法人との団体交渉

非常勤職員を守ります。

フルタイム職員の正規職員化。雇い止めの廃止。夏季休暇・忌引き休暇・病気有給休暇の実現。有期雇用看護師の正職員化。


雇い止めを許さない国会院内集会

交流やイベントも楽しみます。

組合は、職種、性別、世代のちがいを超えて教職員が集い、交流・議論し、仲間をつくる催しをやっています。

※活動内容はそれぞれの大学・高専・大学共同利用機関の組合によって異なります



楽しいイベントや交流などがたくさんあるよ！

「大学・高専・大学共同利用機関ではたらくみなさんへ」